

環境に配慮した稲作で赤とんぼの舞う里に 赤とんぼ米の作柄を市長に報告



米生産者とJAあいち豊田は11月11日（木）、生物にやさしい環境条件を整えながら栽培する特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」の今年の作柄と出荷状況を報告するため、豊田市の太田稔彦市長を表敬訪問します。

赤とんぼ米の栽培は、近年減少した赤とんぼ（アキアカネ）を復活させ、赤トンボの舞う美しい景観を守るための取り組みです。農薬の使用成分や化学肥料由来の窒素成分を愛知県の慣行基準より5割以下に削減してミネアサヒを栽培します。また、愛知・三河中山間ミネアサヒは、日本穀物検定協会が発表した2020年産米食味ランキングで特Aの評価を受けたおいしいお米です。

豊田・みよし環境保全型農業推進協議会（JAあいち豊田、愛知県、豊田市、みよし市）では「生き物を育む農業」をめざしており、この考えに賛同した農家が「赤とんぼ米栽培グループ」を2016年3月に設立しました。活動を通じて、地元の皆さんに農家の米づくりに対する思いを伝え、消費者の農業に対する理解をより一層深めてもらうとともに、地元産米を地域で買い支えてもらいたいと考えています。

地域農業を応援するグループ“赤とんぼ友の会”の会員も募集しています。現在107人が加入し、田植えや生き物観察、稲刈りなどの農業体験を行っています。2021年産「赤とんぼ米」は、10月6日より玄米1キロ480円（税込）で、JAグリーンセンターや産直プラザで販売しています。



▲生産者とJA役員が市長を表敬します

訪問日時

日時：令和3年11月11日（木） 9時00分～

場所：豊田市役所 南庁舎5階 市長室

訪問者：赤とんぼ米栽培グループ 会長 伊藤政和

JAあいち豊田 代表理事組合長 石川尚人、代表理事専務 中根金良

※取材を希望される場合は、あらかじめご連絡をお願いします。

お問合せ先：JAあいち豊田 営農部 営農指導課

住所：豊田市西町4丁目5番地

電話：0565-31-2460

担当：深津

FAX：0565-31-9825

